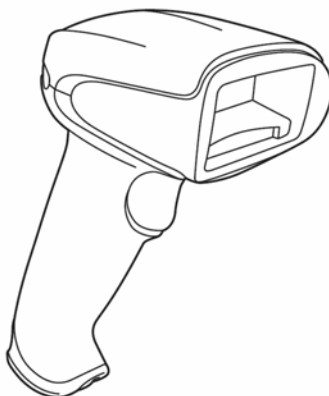


Xenon 1900/1902 プラグイン搭載モデル 設定ガイド

Ver.M

2016 年 9 月版



 <p>お問い合わせ先 株式会社エイポック 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第2ビル 5F TEL:045-508-5201 FAX:045-508-5202 www.a-poc.co.jp</p>
--

- 製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- 本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

はじめに	3
第 1 章 プラグインの設定	4
1-1 プラグインの構成	4
1-2 ソロモン・デコーダー	5
1-2-1 低印字品質 QR コードの読み取り設定	5
1-2-2 連結 QR コードの読み取りパターン設定	5
1-3 データ編集機能	6
1-3-1 QR コード 2 バイト文字読み取り設定 (日本語、漢字かなの読取).....	6
1-3-2 GS1・フォーマットの設定	7
1-3-3 GS1・フォーマットの設定メニュー作成ソフト	9
1-4 GS1→JAN コード変換	10
1-5 プラグインの無効化 (初期化)	11
第 2 章 設定コード	13
付録 サンプルバーコード	15

改訂履歴

Ver.M : 従来の説明「日本語データ読み取り設定 (ソフトを使用する)」を削除しました。

※プラグイン (スキャナ本体の設定) での日本語データ読み取りは本書 p6 で設定していただけます。

※ソフトを使用した日本語データ読み取りは、別資料「日本語データ読取り設定 (ドライバとソフトの導入手順)」をお読み下さい。

はじめに

このたびは本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本書は次の内容について説明いたします。

- ・ ゼノン Xenon 1900/1902 プラグインの設定

(注)本製品の基本的な説明はユーザーズガイドをお読み下さい。

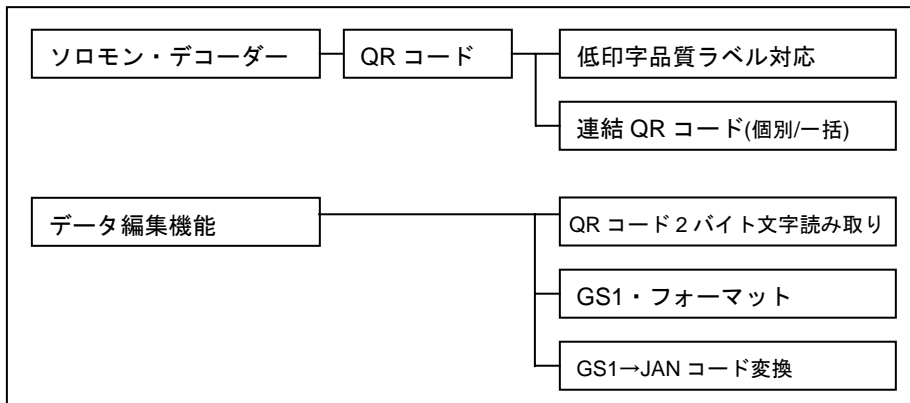
Xenon 1900 プラグインとは

プラグインとは米国 Honeywell 社製 Xenon 1900 の追加機能です。プラグインは国内で独自に開発され、弊社が販売する Xenon 1900 に搭載されています。

第 1 章 プラグインの設定

1-1 プラグインの構成

プラグインは次の通り構成されています。



ソロモン・デコーダー

低印字品質ラベル対応

セルの太りがある QR コードの読み取りが可能です。

連結 QR コード

連結 QR コードの読み取りパターンを設定することができます。

プラグイン搭載モデルのみ、連結 QR コードの個別読みができます。

データ編集機能

QR コード 2 バイト文字読み取り 2015 年 1 月以降出荷の製品が対応します。

日本語データの読み取り設定です。ソフト無しで読み取ります。

GS1・フォーマット

GS1-128、GS1-^{データバー}Databar、GS1 合成シンボルを A |^{エアアイ}(アプリケーション識別子)によって編集して出力することができます。

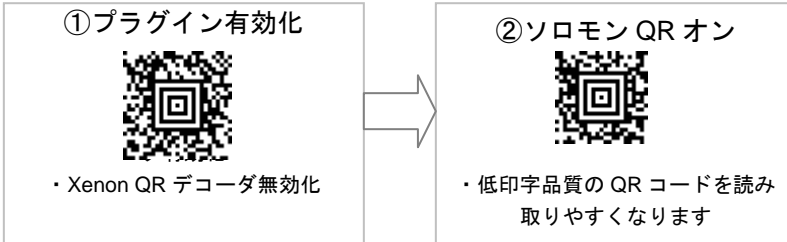
GS1→JAN コード変換

GS1 の商品コードを JAN コードに変換します。JAN 用のチェックデジットになります。

1-2 ソロモン・デコーダー (低印字品質 QR、連結 QR コード)




1-2-1 低印字品質 QR コードの読み取り設定

①→②の順で設定コードを読み取って下さい。



1-2-2 連結 QR コードの読み取りパターン設定

上記(1)①→②を設定した後、次のメニューから読み取りパターンを1つ読み取って下さい。

<p>個別読み</p>  <p>1個ずつトリガーを押して読み取り、最後にまとめて1データを出力する ※QRコードが大きく1回で入りきらない場合などに便利です</p>	<p>一括読み</p>  <p>1回のトリガーで連結QRをすべて認識したら1データを出力する</p>	<p>編集なし</p>  <p>※連結データになりません</p>
--	--	--

(注) 連結 QR コードの設定後は QR コードのデータフォーマットエディタが利用不可となります

バーコード例

連結 QR コード

1234567890ABCDEFGHIJKLMNopqrstuvwxyz





1-3 データ編集機能

1-3-1 QRコード2バイト文字読み取り設定

日本語（漢字、かな）のQRコードを読み取る設定です。専用のソフトやドライバは使用しません。 (注) 2015年1月以降に出荷した製品が対応します。

①→②の順で設定コードを読み取って下さい。

<p>①プラグイン有効化</p> 	<p>②2バイト・オン</p>  <p>日本語データのQRコードを読み取ります。 専用ソフトやドライバは不要です。</p>
--	--

【注意：2バイト文字読み取りについて】

- スキャナはUSB HID キーボードインターフェースになります。
- パソコンのキー入力モードは直接入力に設定して下さい。
- システムによっては使用できません。
- 最大文字数は2バイト文字で**214字まで**。以前のスキャナや、文字数が多い場合は、パソコン用の入力ソフトを使用する方法をご利用ください。
→ソフトを使用する方法は、別資料「日本語データ読み取り設定」をお読み下さい

元に戻す場合は下記の設定メニューを読み取って下さい。

2バイト・オフ



※2バイト文字読み取りを
オフにします

バーコード例

QRコード 2バイト文字のデータ

株式会社エイポック<Tab>AB12<Tab>読み取りテスト



1-3-2 GS1・フォーマットの設定

プラグイン有効化を読み取って下さい。



編集パターンを1つ読み取って下さい。



【備考】()を正しく出力しないときは、「第3章 設定コード」のインターフェースの設定で「USB インターフェース 日本キーボード配列」を設定して下さい。



(次項に続く)

AI(01)のデータのみ抽出
(商品コード 14 桁)



※下記に補足設定があります。

AI(17)のデータのみ抽出
(使用期限)



AI(10)のデータのみ抽出
(ロットナンバー)



AI(21)のデータのみ抽出
(シリアルナンバー)



AI(30)のデータのみ抽出
(数量)



●補足設定：AI(01)のデータ（商品コード 14 桁）のみ抽出するときの補足設定です。

※「AI(01)のデータのみ抽出」を設定後に読み取って下さい

※この設定は、商品コードの最終桁をGS1の表示通りに転送します。商品コードをJANコードに変換（最終桁を再計算）する場合、「1-4 GS1→JANコード変換」を設定して下さい。

商品コードのみ抽出し、
先頭の1桁なしで13桁抽出
※「AI(01)のデータのみ抽出」を
設定後に読み取って下さい



商品コードのみ抽出し、先頭の
1桁と最終1桁なしで12桁抽出
※「AI(01)のデータのみ抽出」を
設定後に読み取って下さい



13桁抽出と12桁抽出の設定を消去

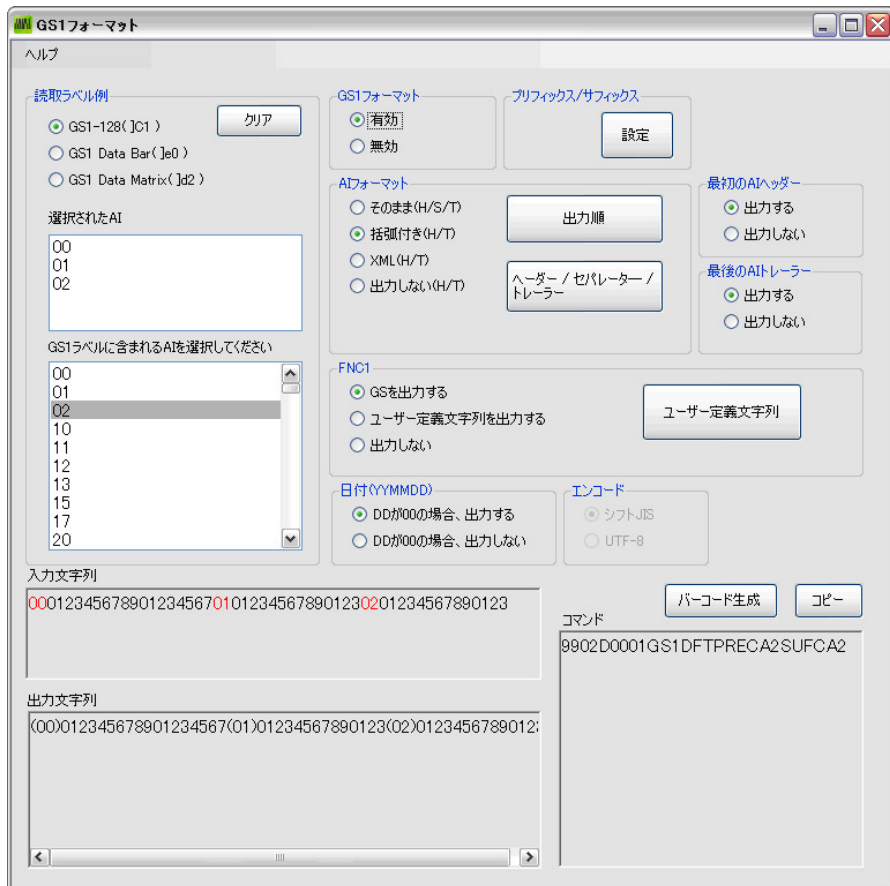


1-3-3 GS1・フォーマットの設定メニュー作成ソフト

GS1・フォーマットの設定メニューは、ソフトウェア「GS1 Format Editor」によって、お客さまご自身で編集の設定メニューを作成することができます。

「GS1 Format Editor」はダウンロードした本書と同じフォルダの中にあります。SetupGs1Editor.msi をダブルクリックしてパソコンにインストールして下さい。

(注) 下記ソフトは 64 ビット未対応です。

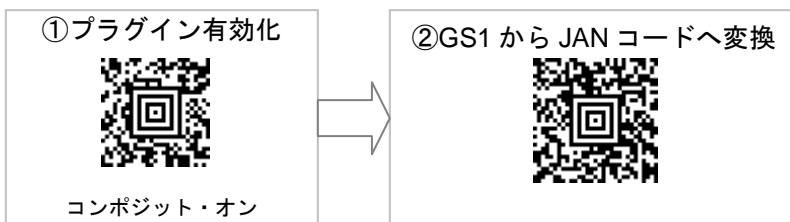


「GS1 Format Editor」で、希望するデータ出力フォーマットの設定を行った後、[バーコード生成]ボタンを押すことによって、設定コードが生成されます。GS1・フォーマットが有効化設定された Xenon1900 で設定コードを読み取ると編集設定が反映されます。

1-4 GS1→JAN コード変換

(注) 2015 年 1 月以降に出荷した製品が対応します。

①→②の順で読み取って下さい。



バーコード例

GS1 データバー限定型 合成シンボル CC-A

(17)120831(10)ABCDE12



(01)14512345678903

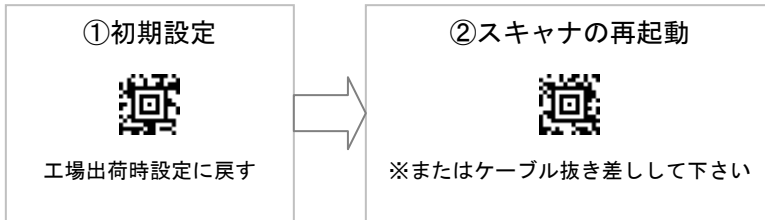
●メモ

GS1 では「14512345678903」(14 桁)が商品コードです。

- ・ JAN コード変換を設定すると、「4512345678903」(13 桁)を転送します。最終桁は JAN 用のチェックデジットに変換します。例では最終桁を 3 から 6 に変換します。
- ・ JAN コード変換を設定すると、JAN コード以外のデータ（有効期限、ロット番号など）は転送しません。

1-5 プラグインの無効化（初期化）

プラグインを無効化するには、①→②の順で読み取って下さい。製品を初期化します。



●困ったときは

初期化し、再度、何か設定した後、データを正しく出力しない場合
→下記「2バイト・オフ」を読み取って下さい。



第 2 章 設定コード

よく使う設定コードを記載しております。

すべての設定は Xenon 1900 ユーザーズガイドをお読み下さい。

インターフェースの設定

*USB キーボード
英語キーボード配列



USB キーボード
日本キーボード配列



カッコやプラスなど記号データを
正しく入力します

ブザー音量 - グッドリード

Low(低)



Medium(中)



* High(高)



Off(オフ)



サフィックスの設定

サフィックスはバーコードデータの後に付加するキーの設定です。

改行する



TAB



* サフィックスを
クリア(消去)する



初期設定のリセット

工場出荷時の設定に戻す



プラグインを使っていない場合、このメニューのみで初期化できます

スキャナの再起動



プラグインも初期化する場合
①初期設定のリセット→②スキャナの再起動を読み取って下さい

付録 サンプルバーコード

QR コード

①QR コード 英数のみ

データ 12345ABCDE



②QR コード 日本語を含む

データ 1900GHD-1USB は、バーコードと2次元バーコードの読み取りが可能です。



③連結 QR コード 英数のみ

データ 1234567890ABCDEFGHIJKLMNopqrstuvwxyz



④連結 QR コード 日本語を含む

データ エイポックの1900GHD-1USBはプラグインを搭載し連結QRコードの編集読み取りが可能です。



GS1 コード

【備考】主な AI の意味

01=商品コード、17=保証期限日(使用期限など)、30=数量、10=ロット番号

①GS1 Databar Limited with Composite CC-A(GS1 RSS 合成シンボル)

(17)120831(10)ABCDE12



(01)14512345678903

②GS1-128



(01)14512345678903(17)120831(10)ABCDE12

③GS1-128

途中に可変長 AI あり 30=可変長 AI



(01)14512345678903(17)120831(30)100(10)ABCDE12